

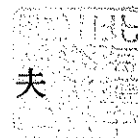


美総企第 45 号

平成19年 5月 1日

国土交通省道路局長 様

美深町長 山口 信 夫



「中期的な計画の作成にあたっての意見書」の提出について (回答)

平成19年4月2日付け、国土企第114号にてご依頼のありました道路政策にかかる「中期的な計画の作成にあたっての意見書」について、別紙のとおり提出いたします。

中期的な計画の作成にあたっての意見書

北海道 美深町長 山口 信 夫

◎重点化を進める上で特に優先度の高い施策

広大な面積を有し中核都市が分散する北海道にあって、この上川北部地域は特有の気候風土のなかで、自然条件を克服しながら日本の食糧供給基地として、農業を基幹産業に生産性の高い効率的かつ安定的な経営を目指し、地域経済の発展に向け努力を続けているところであります。

厳しい積雪寒冷のこの地方において、冬期間の吹雪による視界不良など日々変化する道路状況のなかで、生産物輸送や日常活動・緊急時対策、特に地域医療に関しては救急搬送や専門性の高い名寄市や旭川市の医療機関へのアクセスとして、住民の暮らしは自動車交通に大きく依存し、移動時間の短縮・利便性の高い安全で安心な道路交通確保が不可欠であり、道路整備は採算性より人命を守る手段としてまた、地域生活の向上が一層図られるものであります。

地域にとって均衡ある経済の発展と生活領域の拡大を図るうえで必要な社会資本として、高規格幹線道路の整備建設が重要な課題であり、地域の活性化と魅力あるまちづくり向け早期の基盤整備が必要であります。

◎効率化を徹底的に進める上で重視すべきこと

地方財政が逼迫しさらに都市部と地方との地域間格差が益々広がるなか、夫々が所管毎に行う道路の計画や隣接する維持管理などについて、国や道さらに地域が連携をとりながら共通する多くの作業について共同して交通環境を整備していくことが、無駄を省きコストを低く抑えることに繋がり、地域の活性化と効率化に必要なことである。

◎その他、道路政策や道路の整備・管理全体に関するご意見

社会経済構造等が変化していく中で、人々のライフスタイルや価値観、ニーズが多様化するにつれ、交通体系を取巻く地域環境や日常生活にも大きく影響を与えています。

効率的な道路整備を進めるうえでは特に、日常生活に密着する維持管理の手法や地域のまちづくりと共通する部分について地域住民と十分連携し、一体となって道路施策を進めることが必要と考えます。